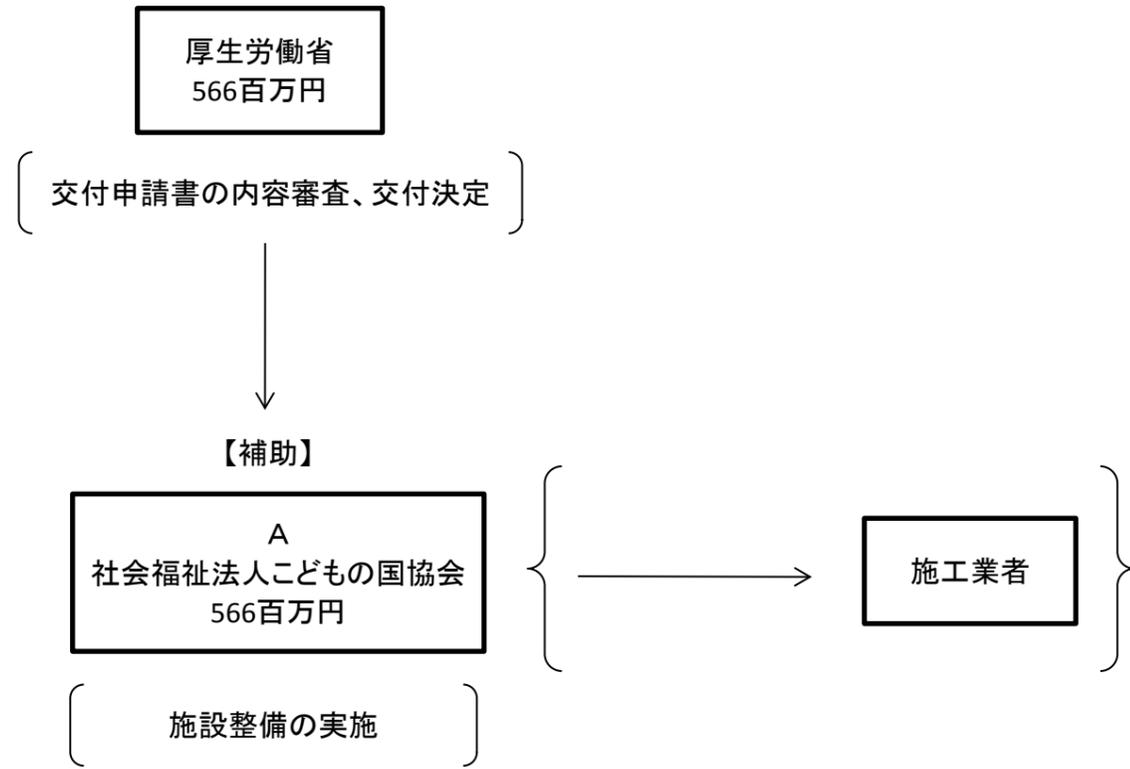


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	こどもの国施設整備費	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度	担当課室	育成環境課	杉上春彦				
会計区分	年金特別会計子どものための金銭の給付勘定	施策名	Ⅲ-1-4 児童の健全な育成及び資質の向上に必要なサービスを提供すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2	関係する計画、通知等	平成24年度こどもの国協会施設整備費の国庫補助について(厚生労働事務次官通知 平24.4.5厚生労働省発雇児0405第7号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	天皇陛下の御成婚記念事業の一つとして建設された、児童健全育成のための中央施設である児童厚生施設(こどもの国)の整備に要する経費の補助。 (「こどもの国協会の解散及び事業の承継に関する法律に対する附帯決議」においては、「政府は・・・児童の健全育成にふさわしい環境が保たれるよう必要な助成を行い、その整備発展に配慮すること」とされている。)							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	こどもの国の施設(児童厚生施設)整備に要する経費の補助 ○実施主体:社会福祉法人 こどもの国協会 ○補助率:定額(10/10相当)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	486	734	566	273	212	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	486	734	566	273	212	
		執行額	486	734	566			
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	施設整備により、施設の適正な管理運営及び利用者の安全確保につながった。なお、これらを定量的に図ることは困難である。	成果実績			—	—	—	—
		達成度	%		—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	施設は40年以上が経ち老朽化しており、毎年順次改修等が必要な施設の整備を実施している。よって定量的な活動指標を示すことは困難である。	活動実績 (当初見込み)			—	—	—	—
						(—)	(—)	
単位当たりコスト	—	算出根拠		—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	こどもの国施設整備費	273	212	整備内容について、精査を行い、必要最低限の整備内容とし、縮減を行った。				
計	273	212						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、児童健全育成のための中央施設である児童厚生施設(こどもの国)について、子どもたちの安全の確保・維持のための改修等を図ることを目的に実施しており、広く国民のニーズがある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	児童健全育成のための中央施設である児童厚生施設(こどもの国)を利用する子どもたちの安全の確保・維持を図るための費用であるため、国が実施すべき事業といえる。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	児童健全育成のための中央施設である児童厚生施設(こどもの国)を運営しているこどもの国協会に対して支出するものであるため妥当である。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業の対象は、老朽化により改修等を要するこどもの園内の施設整備に限定されており、妥当である。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	児童健全育成のための中央施設である児童厚生施設(こどもの国)を運営しているのはこどもの国協会のみであるため実効性の高い手段になっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	本事業の実施により、児童の健全育成にふさわしい環境を保つための整備を行うことで、多くの子ども達が来園している。
点検結果	<p>「平成24年度こどもの国協会施設整備費の国庫補助について」(厚生労働事務次官通知 平24.4.5厚生労働省発雇児0405第7号)の規定に基づき、実施主体において事業完了後、事業実績報告書及び関係書類の提出を受け、施設整備の内容、支出先及び使途について把握している。</p> <p>資金の流れ、使途など各点検項目による評価もおおむね妥当である。こどもの国は、開演依頼40年が経過しており(1965年(昭和40年)5月5日開園)、施設内の建物が老朽化していることから、順次改修を行っていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業については、支援対象の限定・重点化の観点から事業内容等の見直しを図るべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	整備内容について、精査を行い、必要最低限の整備内容のみ要求することとした。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0845	平成23年行政事業レビュー	0754

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(社福)こどもの国協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	こどもの国の施設整備に必要な工事費	566			
計		566	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社福)こどもの国協会	こどもの国の運営	566		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					